

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和元年度中間）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自立的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容等

評価	左記の理由
B	<p>(1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西成区では自主財源の獲得が多く地域で課題となっており、CB/SBの実現に向けて支援を進めた結果、今年度より1地域においてコミュニティ回収を実施することができた。また、コミュニティ回収に取組んだ実績をもとに、他の地域にも分かりやすく説明を行った結果、複数の地域では具体的に検討が進められている。 <p>(2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地活協の構成団体については、連合振興町会や地域社協といった団体が中心となって組織されていることから、新たな地域企業等の参画の実現に向けて、地域課題の整理や参画を呼び掛ける企業・団体リストの作成などの支援が行われている。今後は、地域企業等に対して説明を行うなど、年度内に一定の成果が挙げられるよう取組みを加速してほしい。 <p>(3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な媒体による広報活動については、地域の状況に応じて支援を行った結果、ICTを活用した活動報告や会計書類などの公開に加えて、紙媒体による広報紙を作成する事例も増えてきている。 ・全ての地活協において、会議を行った際には議事録を作成しているが、地域住民に対する議事録の公開といった取組みを進めている地活協は少ない状況であることから、今後は改善できるよう支援を進めてほしい。 <p>(4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域カルテ」の活用に向けた支援については、全ての地活協で完成及び共有することが出来ており、「地域カルテ」に記載している地域課題や地域資源などの内容に基づき、地域の状況进行分析するとともに、地域に応じた支援の工程・方法を設定し、区と情報共有を図りながら取組みが進められている。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

(1) 自由提案による地域支援の提案内容等

(2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容等

(2-2) フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容等

(3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・自由提案による地域支援について、「地域カルテ」の分析や地域関係者とのヒアリング等を行った結果、地活協の自律的な組織運営に向けて、重点的に取組むべき課題を有する地域については、受託者の提案による「地域別目標」を設定した。「地域別目標」については、地域からの理解も得られ前向きに取組みが進められている。 ・支援を進めるにあたっては、支援員が担当している地域のみならず、支援員全体でフォローできる体制が構築されている。また、他区で同事業を受託している強みを活かし、他区の先進的な取組み事例を紹介するとともに、必要に応じて他区のまちづくりセンター支援員の応援を得られる体制作りが出来ている。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる提案内容等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・区の方針・戦略を踏まえた独自取組みである、地域カルテを活用した地域課題やニーズの把握・共有を行った結果、7地域において重点的に支援する「地域別目標」を設定し、区、地域及びまちづくりセンターとも情報共有しながら取組みが進められている。 ・昨年度に「子ども」、「地域振興」、「高齢者・福祉」の分野で部会が設立された地活協においては、自主的な部会運営や部会会議の実現に向けた支援を進めている。また、他の地活協関係者も交えながら部会会議を行い、話し合った内容に基づいた事業計画の立案に向けて取組みが進められている。 ・既存事業の中止が続いている地活協においては、新たに世代間交流の活性化を図る事業の実施に向けて、地域のニーズや課題を調査するため、地域公共人材を活用しながら調査の手法等を検討している。今後は、地域住民が求めている事業を次年度には実施できるよう支援を進めてほしい。 ・新たな担い手の確保に向けて、地域の置かれている状況を把握するため、地域関係者へヒアリングを行うなどの支援を進めてきたが、具体的な候補者を絞り込む作業が難航している。難度の高い取組みではあるが、まずは可能性のある候補者をリストアップするなど、様々な手法を検討してほしい。

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地活協の自律的な組織運営に向けて、画一的な支援に留まることなく、重点的に支援を行う地域には「地域別目標」を設定し、地域の状況に応じて濃淡のある支援を行った結果、順調に取組みが進んでいる地域もあるが、一部の地域では当初の計画どおり取組みが進んでいない地域も見受けられる。 ・下半期については、これまで取組んだ支援の効果を検証し、必要に応じて支援の工程・方法を再度見直すとともに、目標達成に向けて今年度中には一定の成果が挙げられるよう、戦略性を持ったスピード感のある支援を進めてほしい。また、議事録等の公開を実現させるなど、地活協の更なる底上げを図るとともに、地域住民に開かれた透明性のある組織運営に向けて引き続き支援を進めてほしい。

(評価基準)

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。